



友だちの「作品」から学ぼう

ここに紹 介するのは、1 学期中間考査の「関心・態度」を試す、課題に対する「答案」の原文のままです。ですから、漢字の誤りや、言葉の使い方がおかしいものもあります。ただし、文章のとちゅうや終わりに、先生(倉橋)が、一部で訂正したり、コメントをつけたりしています。その場合は、(**「〇〇」*)のように囲んであります。紹介する「答案」は、5 点満点中 4 点以上を獲得した人のものです。けれども、4 点以上の人の全員分ではありません。なお、紹介する人の結論は、すべて「C の意見」です。

3 組 T. I
 ぼくは、社会の授業で日本の食物の自給率が低いことを知りました。てんぷらそばの材料も、家の材料もほとんどが輸入されたものだと知りました。なかには、ボーキサイトなど 1 0 0 % 輸入品なのがあったのでおどきました。先生が「もし外国が日本に輸入してくれなかったら(**輸出してくれなかったらの誤り**)日本の人はが死する」と聞いたとき、ぼくは、「そんなに日本の国は食料がないんだな」と思いました。だから、ぼくは、日本と外国の結びつきには大きな関係があると思い C にしました。

3 組 Y. S
 前の授業で、食料自給率について学びました。そして、半分以上輸入にたよっていることがわかりました。そして、ぼくが思うには、世界各国とのつきあいを友好にしなければならないと思う。日本は島国で、資源がほとんどない。いつかは、食料 1 0 0 % 輸入になると思う。その時、世界各国から食料輸入しなければならない。その時、輸入させてもらえなかったら、まず日本はつぶれると思う。その時のことも考えて、世界各国とは友好にしないとけないと思います。

3 組 M. S
 私の意見と同じものは、意見 C です。なぜなら、家を作る時に使う木も、ほとんどゆにゅうしているし、大豆など 1 0 0 % ゆにゅうしている。(**大豆の輸入率は 100 % ではありません**)もし、意見 A だったら、私達日本人は生きてゆけないだろうと思う。天ぷらそばを例にとってもわかる。材料のほとんどをゆにゅうしているのだから、外国とのつき合いがなくなると、私達は、くらしていけなくなる。私は、日本にいる自分たちのくらしと、世界の国々の人々の生活とは、大きな関係、ふかい関係があると言いきってもいいのではないかと思います。

3 組 Y. T
 日本は多くの国から支えられている。自分達の食料も日本はつくってなくて、ほかの国から輸入している。(**「輸入している」の誤り**)もし、ほかのえん助がなければ、日本はとっくの昔にほろんでいると思う。輸入にたよりすぎて田んぼや畑をつぶして家をたてたりするばかりじゃ もしもの時どうするんだろう？ とっても もろい国だと思うのだ。家や食料その他の物がないうきは車も動かない食べ物もないことになる。山とかも木をきったりして土地にしていってあるから(**宅地のことかな?**), 木もないことになる。おまけに海もよごれていってあるし … 。もうもとのじょうたいにもどるのはむりと思う。(**後半部分は、少しはずれましたね**)

3 組 Y. T
 私達は、食事をするとき、自分の国独特の食べ物だと思っていますが、材料のほとんどは外国から輸入してきたものばかりです。いろんな国の人達と関係がなかったら、私達は今ここにいることができません。だから、私達は、食事や家を建てる時、他にもたくさん輸入しなければ生きていけないので、日本人にとって外国はなくては生きてゆけない物だと思ったからです。

3 組 Y. N
 日本は、今、国内品より、輸入品が多いと思います。もし、どこかの国と日本が貿易をやめたら、食べたいものも手に入りにくくなると思います。「天ぷらそば」の材料のだいたい輸入品だったのがおどろきでした。この 1 2 年間生きてきて、ずーと、「天ぷらそば」は日本の食べ物だと思ってきたけど、天ぷらのエビも輸入品です。だから、この大きな、大きな関係が、こわれてしまったりすると、日本も困りますが、相手国の人達もこまると思う。この大切な関係を今こわしてしまえば、食べ物にこまってしまうと思いました。

3 組 T. M
 私は、日本と外国は大きな関係があるという意見です。もし、今、日本が外国との交流をやめてしまったら、私達は生きていけないと思うからです。だから私は外国の人々の生活がかわれば、日本の生活もかわると思っています。昔から(日本がまだ ちょんまげをしていた時から)、外国とのかかわりがあった日本が、自分の力で自分たちの国を作りあげるのは今からだと無理だと思います。

3 組 M. M
 私は、意見 C を選びます。理由は、最初の社会で、「天ぷらそば」の材料を調べたことで、日本の食料は、ほとんど、外国から輸入していることが(**「輸入」の誤り**)わかりました。日本は、他の国と関係がなかったら、日本は大変なことになります。食料だけでなく、鉄鉱石、石油 … いろいろな物を外国から、買っているのです、日本は他の国がなかったら、生きていけません。だから私は、C の意見を選びます。

3 組 A. Y
 今、たべている食べ物は、ほとんどゆ入されたもので、日本の食べ物は、あまりないからです。そのほか、服や、木など身のまわりにある物のほとんどがゆ入されたものだからです。私は、おなががいっぱいあると、のこった物をかんたんにすてているけれど、ゆ入ができなくなったら そうはできなくなります。もっとものを大事にして、外国の人々と仲よくしていきたいです。



尼崎市立小園中学校 第1学年

社 会 科 通 信

な ん で や ね ん

発行責任者 倉橋 忠



No. 5 - 2 / 3

4組 T. N

日本と世界とは大きな関係があると思う。日本で食べている物の材料はアメリカや、オーストラリアから輸入されている物が多い。日本に輸入してくれるのは(＊＊「輸出してくれる」の誤り＊＊)、アメリカや、オーストラリアなどと友好関係をむすんでいるからだと思います。食べ物だけでなく、鉄鉱石や、石油なども大くの国から(＊＊「多くの国」の誤り＊＊)輸入されていると思います。日本ではあまりとれない物は、ほとんど輸入にたよっているはずです。日本と世界は、大きな関があるとぼくは思います。(＊＊「係」がぬけている＊＊)

4組 T. M

天ぷらそばや家の材料などを学習したけど、日本は、ほとんどが外国からの輸入している。輸出しているのは、自動車やカメラ、テレビくらいなので、輸入ができなかったら、日本人は、ほとんどが、うえ死するだろう。だから、世界の国々と、協力しあわないといけないと思う。

4組 N. O

わたしは、「意見C」を選びました。
なぜかという、『天そば』の勉強の時、日本の食料品は、ほとんど外国からの輸入物にたよっていると習いました。
『日本の住居』の時は、日本の家の材料は、ほとんど外国からたよっているとないました。
日本は小さな国だから、他の国から助けてもらわないと生きてゆけません。日本にいる私たちが生きていけるのは、他の国との関係があるからだと思っています。

4組 H. S

ピザとかグラタンとかスパゲティーとか食べたことがあると思いますが、その材料は、『とうもろこし(コーン)、牛乳(ミルク)、パスタ、ベーコン … 他』これらは、今は、日本でも作ったりしているけど、でも、その数は輸入しているほうが多いと思います。(＊＊牛乳のほとんどは自給できていると思いますが、牛に与える飼料のほとんどは輸入ですね＊＊)世界の国々と、関係がなかったら、私たちは、食べる物がなくなって生きていけなくなります。

5組 K. O

それは「天ぷらそば」です。何ならぼくはそばを日本で作っている思っていました。でもそのそばになる原料のことです。
小麦やそばこなど輸入品ばかりです。そして、天ぷらもえびなど魚貝類など(＊＊「魚介類」の誤り＊＊)ほとんどで天ぷらの油も輸入品かもしれませんし 天ぷらをあげるには ころもがひつようそのころもも、パンコや小麦粉など輸入品ばかりで 日本は〔外国が命〕なのです。なぜなら外国が輸出をしなくなったら まず 日本は人がいなくな

るでしょう。

おかしや、ほかの食品、いふく、などほとんど輸入品です。だからこれからも外国にたよらなければならないでしょう。

5組 D. T

日本の天ぷらそばは、ほとんどの材料が外国からの輸入物で、輸入をしてこなかったら天ぷらそばだけではなく半数以上の食物が食べれなくなる。
天ぷらそばだけでなく、家の材料もそうで、木材や、鉄鉱石も輸入をしている。外国が輸入をいつまでもしてくるとは限らない。(＊＊「輸出」の誤り)そうすると日本は、家を作ることができなくなる。
もし世界の国々の人々が、自分達の生活だけを考えると、日本はなくなってしまう。

5組 Y. Y

理由は、日本は外国の助けがなかったら、やっていけないような国だからです。
天ぷらそばなど、日本の調理法でも外国から輸入した材を使っているし(＊＊「材料」の誤り？＊＊)、石油、鉄鉱(＊＊「鉄鉱石」の誤り？＊＊)などでもほとんどが外国のものということから日本にいる自分たちのくらしと世界の国々の人々の生活とは、大きな関係があるという意見にしました。

5組 N. K

わたしの意見は「意見C」の意見です。それは、他の国々との貿易で日本は成り立っているからです。小麦や大豆などは、ほとんどが輸入されているし、バナナは日本ではとれません。授業で天ぷらそばの問題があったとき、原料は、ほとんど輸入しないと作れませんでした。
日本が他国との貿易をしなくなると、小麦や大豆などの貴重な食べ物が食べれなくなったりして、どんどん資源もなくなってしまうのでわたしは意見Cにしました。

5組 M. S

私がCを選んだ理由は、いろんな国からいろんな物が輸入されているからです。
「天ぷらそば」の材料の小麦粉、エビ、しょうゆとか、家を作るための木材とかも だいたい外国から輸入しているからです。(＊＊「しょうゆ」は日本製ですが、その原料の大豆・小麦・塩などが輸入品です＊＊)
もし、外国からの輸入がなかったら、こうゆう便利な生活はしていないのでCをえらびました。

5組 M. N

私達の住む日本には、輸入された物が、ほとんどです(＊＊「輸入」の誤り＊＊)。食べ物や、石油など、外国からやってきたものは、あふれかえっています。天ぷらそばで勉強した時も、エビや、エビのころもに使う小麦や、だしに使うしょう油の材料も、輸入されたものです。今すぐに、外国から輸出はもうしませんと言われたら(＊＊これも「輸出」の誤り＊＊)、日本はなんの力もない国です。石油もとれないし、食料が足りなくなって、死んでしまいます。家の材料の木も、輸入しているのだから、家も建てられなくなります。だから、外国との関係は、大きなものです。

6組 R. A

日本にいる自分たちのくらしと、世界の国々の人々の生活は、関係があると思います。
天ぷらそばのときなど、小麦粉、大豆、など ほとんど、外国から、輸入をしていることがわかったからです。日本は、ほとんど、輸入で外国にたよっているし、日本も、外国に輸出とか、いろんなものを輸入出をしあっているので(＊＊ふつう「輸出入」と表現します＊＊)、私は、Cの意見にしました。



6組 H. Y

日本は食料自給率が低く、ほとんどを外国から輸入している。ほかに、アルミニウムや、鉄なども、ほとんど外国から輸入している。ほかに、原油もほとんど外国から輸入している。今、食べているおかずも外国製品ばかりだ。だから僕は外国の食料で生きていると言っても過言ではないと思う。もし外国が食料を輸入しなくなったら(**「輸出」の誤り**)、僕はすぐに食料がなくなる。今乗っている車だって、外国から輸入した鉄で作っている。それを今度は輸出している。そのところから見ても、十分に日本と世界の国々とは関係があると思う。

6組 A. K

もし日本が世界の国々の人々の生活と関係がなかったら、今ごろ私達は生きていなかったはず。世界の人達が米や大豆や小麦などを作って、日本へ輸出してくるから、私達は食べる事ができる。世界の人達が鉄や木材などを日本へ輸出してくれるから、住む所があったり、車などの機械類を造れたりする。
そう考えたら、日本は、世界の国々の人々の生活と大きな関係があるといえる。

6組 Y. T

天ぷらそばは、ほとんどが、世界から輸入された物だった。もし、輸入されていなかったら、天ぷらそばという食べ物はできなかったろう(**天ぷらそばが作られたころから、原料を輸入していたのではないよ**)。家の材料である木なども、熱帯などから、輸入されたものだ。これも、輸入されてなかったら、木造の家は少ないだろう。つまり、自分たちのくらしは、世界の国々と大いに関係がある。ということで、私は Cをとる。(**本当は、コンクリート製の建物の方がもっと少ないと思うけどね。なんで?コンクリート製の建物を建てるには、仮枠(かりわく)と言って、コンクリートを流しこむための型を作らなければならない。その仮枠の100%近くが輸入材で作られているんだよ**)

6組 Y. N

天ぷらそばなどからもいえるように、世界の国々と日本が全く関係していなかったら、きっと日本人はうえ死にしてしまう。
普段、気づかないところで、輸入品は使われている。例えば、石油。この石油は、今日本では、全くとれていないので外国にたよらなければならない(**実は、日本でも石油(原油)は取れているよ。ただし、日本中で使う石油の0.3%しか取れないけどね。新潟県や秋田県で取れるんだ**)。
他にもほとんど輸入にたよっているものもあるだろう。私たちの食卓の材料なども輸入品が並んでいることがもしかしたら知らない間にあるのかもしれない。
やっぱりこういうことを考えると、私の結ろんはCになる。

先生からの一言

どうでした? 自分の「作文」と比べてみて。

ここに紹介した「答案」は、表現こそちがいますが、授業で学習したことを、かなり具体的に使って自分の考えを説明していますね。初めての「作文」にしては、かなりイイセンいってと思います。

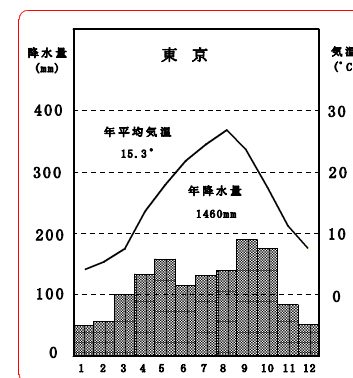
ただ、もう少し、外国の人々の立場も考えてくれたら、よかったなと思います。「日本は生きていけない」から、世界の国々と仲良くしていかなければならい、というような、ちょっとセコイ考え方が多かったと思います。

資料活用技能について

社会科で身につけるべき学力は、大きく分けると、社会科学的な見方と社会科学的な考え方の2つに分けることができます。社会科の評価項目の中で、「知識・理解」や「資料活用技能」は社会科学的な見方と密接な関係をもっています。また、「思考・判断」や「意欲・関心・態度」は社会科学的な考え方との関係が深いと先生は理解しています。

人が自然や社会の中で生きていくためには、さまざまなできごとをまず、正確にものごとを見ることができなければなりません。言いかえると、ばくぜんと存在する事実を、客観的に(だれが見ても、だれが実験しても、同じ結果になることを客観的な事実と言います)、理解する方法が必要なのです。その必要性から人類は、数学や自然科学などその他、社会科学など多くの科学を生み出してきました。

そして、社会科学的な思考や判断をするためには、社会の中で起きているさまざまなできごとや現象(社会事象という)を客観的に、しかも、正確に知る必要があります。そこで社会科では、その方法の一つとして、さまざまな資料から提供される情報をもとにして、考え、判断し、事実を理解することをします。



社会科であつかう資料には、「読み物」や写真・図版、あるいは統計資料やグラフなど、さまざまなものがあります。これらの資料がもつ情報を正確に読みとる練習をしたり、ときには資料として提供された情報が正しいものかどうかを考えます。これを観点別評価では、「資料活用技能」という項目でみています。この「資料活用技能」には、合理的で公正な判断をするための基礎力を形成する目的があります。